

地域組合員と職員組合員の協同で “くらしの安心ネットワーク”を大きくひろげよう!

はじめに

2025年度は、11月に開催した姫路医療生協創立50周年記念イベント「共立病院マルシェ」や第24回介護・医療フォーラム～生協10の基本ケア^①実践発表会～を成功させることができました。地域組合員と職員組合員、地域の諸団体との協同がひろがるとともに、生協10の基本ケアの実践と共有がすすみました。

2026年度は、生協10の基本ケアの視点（あたたかい食事をする、町内におでかけをする、夢中になれることをする）を重視した組合員活動を具体化し、実践を通じて“ふだんのくらし”に生かします。地域組合員と職員組合員が協同して、つながり・健康づくり・助け合いのあるまちづくりをすすめます。

協同組合は「事業（体）」を通じて、組合員・地域住民の願いを実現する組織であり、協同組合の存在意義は、組合員・地域住民のくらしを支えること



姫路医療生活協同組合
「生協10の基本ケア」公式キャラクター
けありん

です。姫路医療生協への加入は、“姫路医療生協のくらしの安心ネットワーク”に加わっていただくことです。「できることを、できる時に、できる人が」をモットーに、組合員参加（役割発揮、生きがいづくり）を大きく広げることにチャレンジします。

2040年に向けた地域包括ケア^②システムの構築第2ステージに貢献し、法人理念“その人らしく、気持ちよく生きる”の理念実現をめざします。

2026年度 通常総代会の 公告

《日時》
2026年6月18日（木）
午後2時～4時30分

《会場》
姫路キャスパホール
（山陽百貨店 西館7階）

生協10の基本ケア

ふだんのくらし、そのままに。

— 生協がたいせつにしている介護 —

その1 尊厳を護る その2 自立を支援 その3 在宅を支援

3 トイレに座る



4 あたたかい食事をする



1 換気をする



2 床に足をつけて座る



5 家庭浴に入る



6 座って会話をする



7 町内におでかけをする



8 夢中になれることをする



9 ケア会議をする



10 ターミナルケアをする



2026年度のすすめかた

1 利用者の尊厳を護り、自立支援をすすめ 在宅サービスの質と対応力をさらに高めます

①生協10の基本ケアの実践で姫路医療生協らしいケアを確立します

- 生協10の基本ケアを姫路医療生協のケアにおける基本理念として学び、全事業所で実践をすすめます。組合員・地域住民の「住み慣れた自宅・地域で最期までくらし続けたい」のニーズに応えます。
- 「かかりつけ医」機能と訪問診療を重視し、介護・医療の一体的サービス提供をおこなうことで、在宅生活を支えます。「治し、支える医療」をすすめます。利用者満足度の向上をはかります。
- 独居高齢者や認知症の方を在宅で支えます。尊厳ある看取りを重視します。
- リハビリ・栄養・口腔の一体的サービス提供をすすめます。
- 「お断りしない」を周知し、困っている方に必ず手を差し伸べます。
- 医師対策を強化し、常勤医師を採用します。



共立病院 マルシェ (1000名を超える参加)

②環境変化に対応し、持続可能な事業に向けた経営改善をすすめます

- 2026年4月1日に福祉用具レンタル共立を福祉介護センターつどい2階へ移転します。訪問看護ステーション別所は訪問看護ステーションなどのサテライト事業所として運営し、経営改善をはかります(2026年5月1日)。
- 今後の事業展開に向けて、共立歯科の建て替えリニューアル、看護小規模多機能の新規開設(小規模多機能からの転換型)等の議論をすすめます。
- 営業活動を重視し、利用者増につなげます。
- 健全経営を目指すしくみづくり(ガバナンス強化)をすすめます。コンプライアンスの強化をはかります。
- ICT(情報通信技術)やAI(人工知能)の活用でデジタル化をすすめ、サービスの質の向上、職員の負担軽減を推進します。
- 各事業所のBCP(事業継続計画)を重視し、自然災害や感染症対策をすすめます。
- 2026年度の事業収益は●●億●●万円(前年比●●%)、経常利益は●●万円(経常利益率●●%)を実現します。

《語句の解説》

①生協10の基本ケア(略して「10ケア」)

「尊厳を護る」「自立を支援」「在宅生活を支援」を大切に生協ブランドの「ケアの基本理念」

②地域包括ケア

医療、介護、生活支援・介護予防、住まいが地域の中で包括的に確保されるという考え方。誰もが住み慣れた地域で安心してくらし続けられるまちづくり

③かかりつけ医

医療・健康のことなら何でも相談できる身近な医師

④コンプライアンス

法令遵守、および社会規範を守ること

⑤心理的安全性

誰もが安心して発言や行動ができる組織の環境を指します。心理的安全性を育む因子として「話しやすさ」「助け合い」「挑戦」「新奇歓迎」を重視します。

2 地域組合員と職員組合員が“ともに 組合員”として学び、協同をひろげます

①「生協10の基本ケア」を組合員と職員の“合言葉”として 学び、実践をひろげます

- 地域や職場で生協10の基本ケアの多彩な学習会を開催します。
- 支部で事業所「10ケア見学ツアー」を企画し、組合員が各事業所の実践を学びます。
- 生協10の基本ケア実践発表会を開催します。

②計画的な人財育成をすすめます

- 全職員を対象に年間計画に基づいた職員研修を推進します。
- 「人事評価制度」は、職員と法人の成長を目的に介護職以外の職種にも順次導入します。「人事評価制度」を職員育成、マネジメントカアップ、職場づくりに生かします。
- 「心理的安全性のある職場づくり」を推進します。「美点凝視」の視点を重視します。
- 外国籍介護職員の採用をすすめます。
- 健康経営を推進し、職員の健康を守ります。

③組合員と職員がともに学び、協同をひろげます

- HappyLifeSchool(旧生協学校)を開催します。通信教育の活用をはかります。
- 第25回介護・医療フォーラムを開催します。
- イチ押し班会メニューを充実させ、活用をひろげます。
- 兵庫民医連学術運動交流集会で演題発表を重視します。



第24回 介護・医療フォーラム
「生協10の基本ケア」実践発表会

3 「つながり」「健康づくり」「助け合い」の あるまちづくりをすすめます

①「楽しく、おいしく、オシャレ」な多彩な活動を地域にひろげます

- 地域ニーズに応え、生協マルシェやポッチャ、街角健康チェック、健康チャレンジ、認知症カフェ、フレイル予防教室、家族会等の多彩なイベントを開催します。イベントには、未組合員の方にもひろく参加を呼びかけます。
- イチ押し班会メニューを活用した健康班会、組合員のニーズにこたえた多彩なサークル活動をひろげます。
- 組合員と職員による地域訪問を位置づけ、75歳以上の組合員とのつながりづくりをひろげ、姫路医療生協への活動参加、サービス利用を呼びかけます。
- 事業利用委員会は、キラリハート[®]や10ケアの共有を重視します。組合員と職員が協同してイベントを開催し、地域のつながりを強めます。
- ニュースひめじや支部ニュース、SNS(インターネットでの情報サービス)を通じたつながりづくりをひろげます。
- 行政や他団体との“顔の見える関係づくり”を強化します。
- くらしの助け合いの会はなちゃん、事業所ボランティアの活性化をはかります。
- 仲間ふやし1,000名、出資金ふやし5,000万円を達成します。
- 全事業所が組合員利用率50%以上を実現します。



城東支部 棒体操 班会

②平和で公正で持続可能な社会をめざします

- SDGs(持続可能な開発目標)への貢献を重視します。核兵器廃絶と平和な社会をつくる運動をひろげます。
- 社会保障の拡充、気候危機問題やPFAS(有機フッ素化合物)などの環境問題にとりくみます。原発ゼロの実現、再生可能エネルギーへの転換をめざします。
- 署名活動や社会保障学習会、平和バスツアー、平和行進、自治体訪問にとりくみます。



SDGsバッジ

⑥生協マルシェ

マルシェはフランス語で「市場」を意味します。“通い”と“つながり”の場としての楽しいイベント

⑦ポッチャ

老若男女、障がいのあるなしにかかわらず、すべての人が一緒に楽しく競い合えるスポーツ

⑧生き生き広場

健康寿命100歳をめざすフレイル予防講座&交流のイベント

⑨フードドライブ

食品ロスをなくすために、食べきれない食品を必要な人に届けるとりくみ

⑩キラリハート

利用者様に喜ばれたイチ押し事例を各事業所がまとめ、組合員・職員の確信にし、ひろげるとりくみ

2025年度のまとめ

1 介護と医療の連携強化・一体的サービス提供で、利用者を在宅で支える

①利用者の尊厳を護り、自立支援をすすめ、在宅サービスを推進しました

- 生協10の基本ケアを姫路医療生協のケアにおける基本理念として学び、実践しました。
- 「お断りしない」を周知し、困っている方に必ず手を差し伸べました。
- 「かかりつけ医^③」機能と訪問診療、介護・医療連携を重視し、多くの組合員、地域住民に姫路医療生協のサービスをご利用いただきました。利用者満足度調査を実施し、改善につなげました。
- リハビリ・栄養・口腔の一体的サービス提供をすすめました。
- 全職員を対象にした虐待防止研修や、全管理者を対象にした法令遵守研修を開催し、コンプライアンス^④強化をはかりました。
- 行政や他団体との“顔の見える関係づくり”をすすめました。
- あぼし診療所の常勤医師採用の課題は、引き続き最重点課題です。

②環境変化に対応し、持続可能な事業に向けた経営改善をすすめました

- 2025年7月1日居宅介護支援事業所香寺を居宅介護支援事業所介護の窓口に統合
- 営業活動を強化し、利用者の増加につなげました。
- 介護事業所に見守り機器やAI（人工知能）訪問ルート作成ソフト等を導入し、デジタル化を推進しました。利用者へのサービス向上、職員の負担軽減につなげています。
- 2025年4月に生産性向上委員会を立ち上げ、2026年2月に生産性向上実践発表会を開催しました。職員の余力を生み出し、ケアの価値を高める実践を共有しました。
- 2025年度の事業収益は●●億●●万円（予算比●●%、前年比●●%）、経常利益は●●万円（経常利益率●●%）です。

2 地域組合員と職員組合員が“ともに組合員”として学び、協同をひろげる

①生協10の基本ケアを組合員と職員の“合言葉”として学び、実践をひろげました

- 2025年11月に第24回介護・医療フォーラム～生協10の基本ケア実践発表会～を開催し、組合員、職員、行政担当者、他の介護事業所等、計169名が参加し、10ケアの実践を共有しました。10ケアの公式キャラクター「けありん」を作成しました。
- 生協10の基本ケアトレーナー研修を開催し、30名のトレーナーを養成しました。
- 全職員を対象に生協10の基本ケア研修を実施しました。
- 地域では、ブロックや支部で生協10の基本ケア学習会が開催されました。
- 「10ケア推進ニュース」を発行し、各事業所の実践を紹介しました。

②計画的な人材確保・育成をすすめました

- 全職員研修会を開催し、延べ735名の職員が参加しました。生協10の基本ケア、虐待防止、組合員活動について理解を深めました。
- 職員と法人の成長を目的に、介護職員の人事評価制度の運用をすすめました。職員のモチベーションアップ、職場のコミュニケーションアップにもつながっています。介護職員以外の職種は、2026年度以降に運用できるよう人事評価制度の構築準備をすすめました。
- 「心理的安全性^⑤のある職場づくり」を推進しました。

③組合員と職員がともに学び、協同をひろげました

- 生協学校を開催し、「最期まで在宅でくらし続ける」をテーマに学び、交流しました。
- イチ押し班会メニューを活用し、健康班会をひろげました。
- 通信教育は、組合員34名、職員20名、計54名が受講しました。
- 第50回兵庫民医連学術交流集会には、姫路医療生協から25演題を発表し、組合員・職員あわせて163名が参加しました。

3 姫路医療生協の“くらしの安心ネットワーク”を地域にひろげる

①「つながり」「健康づくり」「助け合い」のあるまちづくりをひろげました

- 地域に開かれた多彩な活動を組合員、職員が協同してひろげました。事業利用委員会での議論を重視して、エリアごとに生協マルシェ^⑥や街角健康チェック、認知症カフェ、フレイル予防教室、ポッチャ^⑦、家族会等の多彩なイベントを開催しました。また、生き活きひろば^⑧や「ひょうごまるごと健康チャレンジ」、禁煙ポスターコンクール、フードドライブ^⑨等にとりくみました。
- 組合員と職員による地域訪問を位置づけ、75歳以上の組合員とのつながりをひろげ、サービス利用を重視しました。本格的な実践は今後の課題です。
- 秋の生協強化月間は、月間スタート企画「楽・演・祭」を開催し、「強化月間杯2025」にとりくみました。
- 仲間ふやしは●●名（純増●●名）、出資金ふやしは●●万円（純増●●万円）の到達です。組合員利用率は、法人全体で51.0%です。全事業所で組合員利用率50%以上の実現が求められます。組合員活動の担い手づくりは、今後の課題です。



勝原・大津茂支部の合同健康チェック



デイサービスさろお「さろお万博」

②平和で公正で持続可能な社会をめざした活動をすすめました

- 原水爆禁止世界大会へ代表2名の派遣をはじめ、平和バスツアー、平和行進、PFAS（有機フッ素化合物）学習会、自治体訪問、「地域医療を守る緊急署名」等の各種署名活動にとりくみました。
- 各事業所のBCP（事業継続計画）を重視し、自然災害や感染症対策をすすめました。